

「再現」し「つくる」ことで実感! 古典文学

THE CHIBA OUT 2020.02



柴先生(千葉学習センターで)

柴佳世乃 千葉大学教授

千葉学習センター客員教員(中世日本文学) 連載:ぼくの好きな先生⑤

化が豊かに花開いた時代でもあります。当時の文学作品を単に文章として読むだけでなく、音声(音曲)や仕草なども再現することで、より臨場感を持ってその時代を感じて理解することができるのだと思います。

一般に古典文学と言うと、高校生時代に習った「古文」や「漢文」の授業を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。高校の授業では教科書にある文学作品などを「机上で文章を読みながら理解を進めていく」といった方法が多く、どちらかというと退屈に感じていた方もいたかも知れません。

でも、柴先生は文章表現に読み取れる作品がつけられた当時の文化や時代背景、そこに生きる人々の生活や考え方にとどまらず、当時の人々の仕草や息づかいといったことにまで注目することで、文字で表した文章をより多角的な視点で立体的に理解しようとしているようです。

およそ700万年の人類の歴史の中で、人間が文字を発明

してから現在まで、僅か数千年に満たないともいわれています。そこで、このように五感をフル活用して物事を理解することは、知的解釈に身体性までもが加わることになり、より自然に理解が深まるのかも知れません。

私たち一人ひとりが人生で経験できることはほんの僅かなことに過ぎません。でも、文学にはその中にちゃんと人(作者や登場人物)が生きていて、ものを考えたり悩んだり喜んだり、そんな感情を他人と分かち合ったり……と、人の苦楽の営みがいっぱい詰まっています。それを私たちは面白いと感じて自分の人生の中に取り込んでいくことができます。

私たちが言葉を獲得してから、世代を超えて蓄積されてきた知識や知恵が古典文学には含まれているのです。

そして、まだ山ほどある未だ発見されていない古典文学の面白さを掘り起こして多くの人に伝えたいと柴先生は語ります。



柴佳世乃先生は中世(平安末期～鎌倉・室町時代)の日本文学(説話、仏教文学)を研究しています。特に、中世の「読経音曲」

(※1)の復元に取り組んでいるとのこと。そのために、まだ世に出ていない全国各地に眠っている「口伝書」(※2)を求め、自ら寺を訪ね歩くことも

あるそうです。

中世の時代は貴族・寺社・武士それぞれの勢力が台頭し入り乱れる中、音楽や歌謡そして能や狂言など、芸能の文

創作狂言 里見八犬伝 レポート

千葉県文化会館(千葉市中央区)で昨年12月7日に行われた公演「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～プロジェクト『里見八犬伝』(主催:(公財)千葉県文化振興財団)」を鑑賞してきました。

これは千葉大学での柴先生の授業「伝統文化をつくる」の一環で行われ、狂言師の小笠原匡さんらの指導のもとに制作したとのこと。

会場ロビーでは、パネル展示と紙芝居による『里見八犬伝』の説明がありました。これらは、複雑な『里見八犬伝』のストーリー

を前もって観客に伝えておこうと学生たちが工夫したものです。今回は全5回連続公演の4回目にあたるそうです(来年完結編を予定)。舞台や演技以外で観客への興味・関心を高める配慮もうかがえます。

台本作成から道具、展示、広報に学生たちが関わったとのこと。授業のタイトル「伝統文化をつくる」通り、台詞に時事ネタを盛り込むなど、物語を現代の聴衆に合わせ、新たに「つくった」内容になっていました。まさに古典芸能を新たに「つくる」ことで理解し表現するのですね。



ロビーでは学生スタッフが自作の紙芝居であらすじを紹介

※1 「読経音曲」
法華経の読誦(どくじゆ/経文を声に出して読むこと)に曲節(きょくせつ)/音楽や歌謡などに付くふし(こと)が付いたもので、中世に芸道化した。
※2 「口伝書」
奥義や秘伝を記した書物。「虎の巻」。

ミニゼミと面接授業
柴先生のミニゼミは、「仏教儀礼を知る、考える、味わう」、面接授業は「中世人と夢」(2019年第2学期)です。

第9回 卒業研究・論文発表会
日時 令和2年2月16日(日)
13:00～15:30 発表会 15:30～16:30 懇親会
場所 放送大学千葉学習センター
<卒業研究の部>
(1)手塚裕子さん(生活と福祉コース卒業)
(2)末永明義さん(情報コース卒業)
<大学院修士論文の部>
(1)井戸端靖さん(社会経営科学プログラム修了)
(2)萬浪絵理さん(人間発達科学プログラム修了)
どなたでも参加できます。事前申込不要

学食あります
場所:本部西研修棟1階
営業時間:11:30～13:30
定休日:土曜、日曜、祝日



イカ天井定食

学生教育研究災害障害保険
■学生教育研究災害傷害保険とは「加入者である学生が教育研究活動中に被る事故に対する保障を目的とした保険」です。
■放送大学のすべての種類の学生が加入することができます。
■保険金額は学生教育研究災害傷害保険が100円(6年間有効)です。通学特約はプラス40円(同)です。
■放送大学で授業となるとあまり頻度は多くありませんが、ゼミへの参加や面接授業、そして研究のためのフィールドワークに資料収集など研究活動を広く行うことがあると思います。
■加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申し込みください。

面接授業 実施時間

1時限	9:50～11:20
2時限	11:35～13:05
3時限	14:05～15:35
4時限	15:50～17:20

※ご注意※
2019年度第1学期から面接授業の時間が変更になっております。

いまよみがえる70年前の映写機による投影

占領期社会教育とナトコ映画 2月15日(土)13:30~15:00 千葉学習センター



▲ 音声を再生する真空管アンプ

◀ 実動するナトコ映写機はとても珍しい。左が映写機、右がスピーカー

「ナトコ映画」とは、占領期に「視聴覚教育を通じ日本人の国際情勢に対する啓蒙と日本の民主化をはかるため」(文部次官通達、1948年10月26日、発社103号)上映されたCIE映画(約400本「占領終結」後はUSIS映画と改称)を、アメリカ・シカゴのナショナルカンパニー社製の16ミリ映写機(商品名・NATCO)によって上映したことから、通称「ナトコ映画」と呼ばれています。

今回、使用する映写機は、占領軍が全国に約1300台貸与したうち、千葉県に貸与された25台のうちの1台です。

ナトコ映写機で実写されるCIEフィルム「みんなの学校」を鑑賞しつつ、占領期社会教育と「啓蒙」政策を参加者とともに考えたいと思います。

講師:長澤成次 千葉学習センター所長(元千葉大学理事、千葉大学名誉教授)

後援:千葉市教育委員会

東山魁夷の表現の世界と生き方 2月9日(日)13:30~15:00

千葉学習センター



橋本光明先生

国民的風景画家と謳われ、千葉県にゆかりのある東山魁夷(1908-99年)は、生誕110周年を経た現在も観る人を魅了し、全国の人々に親しまれています。

1960年赤坂御所の壁画に続き、1968年皇居新宮殿の壁画を完成、1969年文化勲章受章、1974年日展理事長、1975年唐招提寺障壁画を完成するなど日本画の王道を歩み続けましたが、誇らず謙虚さを失わない生き方は、真の美、独自の心象風景を探究し続けることに重なります。

「描くことは祈ること」「私は生かされている」と語る画伯の生き方について作品や著書等から理解を深めます。

講師:橋本光明すみだ北斎美術館館長(前長野県信濃美術館・東山魁夷館館長、信州大学名誉教授)

後援:千葉市教育委員会

日本人は海藻をいかに喰らい、もちいてきたか

2月2日(日)13:30~15:00 千葉学習センター



宮田昌彦先生

人類は、二千年以上にわたって藻類を採集し、食料・薬として、業の道具として、宗教的な神聖なものとして、多様にもちいてきました。

特にわたくしち日本人は、生活文化の一翼になう、固有の「藻の文化」を想造してきました。

本講演では、人と藻類のかかわりについて、歴史的な実態を解説するとともに持続可能な社会へ向けた資源としての藻類の利用について概説します。

講師:宮田昌彦元千葉県立海の博物館館長

後援:千葉市教育委員会

上記講演会のお申込み方法

いずれの講演会も費用は無料で、どなたでも参加できます。1講演につき2名までお申込みできます。参加を希望される方は、①講演会の名

称、②参加者全員の氏名(フリガナ)、③電話番号、④一般または放送大学生の区分を記入し、メールで chibagaku_soumu@ouj.ac.jp に送信ください。

また千葉学習センターに

はFAX用の申込み用紙を備え付けてありますので、そちらもご利用ください。

定員超過で入場をお断りする以外には、受付登録に関するご連絡はいたしませんのでご了承ください。

単位認定試験 学部と院で同日実施 オリンピック・パラリンピックの影響考慮

2020年度第1学期の単位認定試験は、同時期に開催される東京オリンピック・パラリンピックの影響等を考慮した日程で実施するため、以下のとおり教養学部と大学院の単位認定試験を同日で実施いたします。

教養学部と大学院の両方に学籍がある方は、出願及び科目登録の際、同一試験日・時限で2科目以上登録しないようご注意ください。【2020年度第1学期教養学部単位認定試験】

7月17日(金)、18日(土)、19日(日)、21日(火)、22日(水)、23日(祝)

【2020年度第1学期大学院単位認定試験】

7月17日(金)、18日(土)

・注1 教養学部と大学院では学籍が異なるため、同一試験日・時限でも2科目以上登録できませんが、入

学後に変更を行うことはできません。どちらか一方の科目を選んで受験いただくか、再履修を行っていただくこととなりますので、出願及び科目登録を行う際は、必ず科目の試験日・時限をご確認のうえ、お間違のないようにご登録ください。

・注2 試験当日は公共交通機関の混雑や遅延等が予想されます。遅延等の場合でも試験日の変更等はできませんので、科目履修登録の際は、十分にご自身のスケジュール等を確認のうえ、ご登録いただきますようお願いいたします。

・注3 今回、首都圏にある学習センターを受験センターとして希望されても、各試験会場の席数に限りがあり、ご希望に添えない場合があることをあらかじめご承知おきください。

附属図書館の館内工事 臨時休館 2/10~2/19 一部利用制限 2/3~2/9、2/20~2/28

附属図書館では2月に電動集書架の老朽化したレールの改修工事などが行われます。

工事期間中は図書館が臨時休館されるほか、その前後は一部利用制限がかかり、2階と3階に利用者が入室することはできません。ただし、図書館職員が2階、3階の配架資料を出納することで、閲覧や文献複写等のご要望に対応する予定です。また一部雑誌は利用できない場合もあるとのことです。

○臨時休館期間:

2月10日(月)~2月19日(水)

○一部利用制限開館

(1階のみ開館。放送教材、印刷教材、新聞は利用可)

2月3日(月)~2月9日(日)

2月20日(木)~2月28日(金)

※なお、2月25日(火)は休館日のため利用できません。

詳細は附属図書館にご確認ください。

放送大学出願期間

2020年4月入学

[第1回]

2020年2月29日まで

[第2回]

2020年3月1日~3月17日

2020年10月入学

[第1回]

2020年6月10日~8月31日

[第2回]

2020年9月1日~9月15日 予定



千葉学習センター開所時間

<開所日> 火曜~日曜

<閉所日> 月曜、祝日、年末年始

<開所時間>

通常期間 9:30~18:00

面接授業開講日 9:00~18:00

単位認定試験期間 8:15~19:00

悪天候等による臨時閉所のお知らせ

千葉学習センターは、台風の接近等により次の気象警報が発令された場合は、原則として右記の基準により臨時閉所いたします。

●警報及び特別警報
大雨特別、洪水、暴風、暴風雪、大雪特別

●発令対象地域
千葉県北西部

●台風等の接近中の判断基準

午前7時30分の時点

○いずれの警報も発令されていない場合

→ 通常どおり開所します。

○いずれかの警報が発令されている場合

→ 午後2時まで臨時閉所します。

午前12時(正午)の時点

○すべての警報が解除された場合

→ 午後2時から開所します

○いずれの警報も解除されない場合

→ 終日臨時閉所とします。

●所長による判断

所長判断により次の場合に開所時間の変更または臨時閉所をします。

○交通機関(JR総武線・京葉線、京成線)の混雑が予想される場合

○学生の皆さんの安全確保に影響が生じることが予想される場合

最新の情報は気象庁の発表及び千葉学習センターのホームページをご確認ください。